

綱 領

- 一、我等は雄大にして尊厳なる帝國の理想に従ひ情義を尊び利
東能力し以て國家産業の發達を期す
- 二、我等は團結の力を以て勞働條件の改善向上を圖り進んで勞
働者の社會的權利の伸張を期す
- 三、我等は我國獨自國防と國民性とに立脚し純日本の社會の實
現を期し國家を奮勵し私利私圖を忌する從來に對しては斷
然として廢絶を期す

宣 言

今や日本の現状は故時産業教育道徳教育に破綻を來し其の破
綻を失墜し社會人心に絶望的發達を極度に高調せしめ專断は漸々
として一大危機の態勢に達し遂に邦家未嘗有の國難を招來する
に至れり之即ち我が雄大國の理想に基く大和民族性を開却して漫
りに外來の物質文明に没頭し或は直譯の愚態に心酔し名利に憧か
れ物質に傾したる所以のものにして就中其産業組織の上に於
ても徒らに自由放任利己主義が發揚せられ全く無統制的狀態に在
り其の結果國家産業の發達に大なる支障を齎したる事は見道し得
ず即ち我が國産業の實況を檢討するに邊境の乏しき其の多
くの資本家階級は勞働者の合理的的團結を促へ徒らに雄辯し彼
つて團體協約權等は是もよらず何等配慮檢討することなく専断を
來る態度を以て之を拒否し一方一擧にもせよ勞働組合中には此の
態度に應じて自ら自衛的になり或は又々の語字によつて争ひ得